

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

千葉国体九州ブロック大会 弓道競技が鹿屋で開催



8月21日・22日の2日間、市弓道場で「国民体育大会第30回九州ブロック大会弓道競技」が開催されました。

市からは、少年女子団体の部で鹿屋女子高等学校の宮治綾香さん（札元2丁目）、小山田由依さん（寿5丁目）が出場。予選を見事1位で突破し、9月25日から10月5日にかけて千葉県で行われる国民体育大会への出場権を獲得しました。

元気あるかのやを 取り戻せ



8月27日、リナシティかのやで「リバーサイドビアパーティー2010」が行われました。

これは、市民交流の促進や商店街の活性化を図り、市民に地場産品の料理などを楽しんでもらおうと「まっのなか元気隊」が開催したもの。当日は、フラダンスやライブ、カラオケ大会などが行われ、暑い夏の1日を吹き飛ばすほどの盛況ぶりでした。

赤ちゃんガメを放流



8月12日・20日・23日・29日に子どもたちが子ガメを海に放流する「ウミガメ帰海観察会」が行われました。6月・7月にかけて、ウミガメ4匹が、高須と浜田の両海岸で産卵した計502個が次々にふ化。参加した子どもたちは「また帰ってきてね」と声をかけながら、小さな手足を懸命に動かして海に帰っていくウミガメを見守りました。

吾平

口蹄疫終息記念「元気な吾平を取り戻せ」と花火大会



8月28日、吾平町で「美里あいら花火大会」が行われました。

実行委員会では、口蹄疫侵入防止のため、一時は中止が決定していた夏祭りですが、家畜の移動制限の解除をうけ、「元気がある吾平を取り戻そう」と花火大会を開催。市内外から親子連れなど約2,000人が訪れた会場では、3,300発の花火が夏の夜空を彩りました。

旬な食材で 家庭料理に挑戦



7月31日、市保健相談センターで「第1回旬菜料理講習・試食会」が行われました。

これは、食と農交流推進事業の一環として、乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、食育の重要性や地元食材に関心を持ってもらおうと行われたもので40人が参加。

当日は、地元産のアジやかぼちゃ、ナスなどを使って家庭料理に挑戦しました。

すばやいアユの動きに 悪戦苦闘



8月22日、吾平自然公園近くの神野川で、「アユのつかみ取り大会」が行われました。これは、川に親しみながら自然の大切さとふるさとの良さを再認識してもらいたいと毎年行われているもの。当日は、家族連れなど約150人が参加して、素早いアユの動きに悪戦苦闘しながらも、「塩焼きにして食べたい」などと話しながら、つかみ取りを楽しんでいました。

リナシティで 宿泊学習



8月3日から5日の2泊3日の日程で、市内の小学4～6年生29人が参加して、「夏休みリナシティかのや探検隊」が行われました。これは、宿泊学習を通して協調性や創造性を養うために行われたもの。当日は、リナシティかのやの施設を活用して、調理体験や昔のおもちゃ遊び、楽器体験などを行ったほか、盲導犬体験やそば打ち体験なども行いました。

保育体験で 家族の大切さを学ぶ



8月3日・4日の2日間、白崎保育園と正徳保育園で「ドキドキワクワク保育体験講座」が行われました。これは、市内の中高校生を対象に、子育ての楽しさや家族の大切さについて考えてもらおうと行われたもの。最初緊張していた生徒たちは、次第に子どもたちと心を通わせ、「この体験をいかして立派な大人になりたい」などと明るく話してくれました。

郷土の歴史の 深さを再発見



7月27日・28日の2日間、市内の各地域で守られてきた文化財を学ぼうと「文化財めぐり」が行われました。

これは、自分たちの地域に貴重な文化財があることを知り、愛護精神を育もうと行われたもので、市内の小学生107人が参加。当日は、田の神像や石塔など貴重な文化財を見学し、郷土の歴史の深さを再発見していました。

古代人の 足跡たどる



7月21日・8月3日・4日の3日間、「文化財ウォッチング」が開催されました。

これは、文化財に対する理解と愛護精神を育んでもらおうと毎年行われているもので、市内の小学生30人が参加。粘土を使っての土器作りや勾玉作りなどを行ったほか、串良町の田原迫之上遺跡の発掘体験など、3日間を通じて貴重な文化財体験を楽しみました。